



2007年(平成19年)10月期

# 中間決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長 おこし いわお 御輿 岩男

(ジャスダック証券取引所、証券コード:7827)

2007年6月22日

## ●目次

<b>PART1 会社の概要</b>	<b>3</b>
●プロフィール	4
●経営理念・沿革	5
<b>PART2 事業の特長(強み)</b>	<b>6</b>
●木材事業のビジネスフロー	7
●木材事業の特長	8
<b>PART3 2007年10月期の中間連結業績</b>	<b>11</b>
1. 中間連結損益計算書	12
2. 売上高・中間純利益の増減要因	13
3. 事業のセグメント別業績	
●木材事業	14
●ハウス事業	15
●アミューズメント事業	16
●不動産事業	17
4. 中間連結貸借対照表及び中間連結 キャッシュ・フロー計算書	18

<b>PART4 市場環境と取組みの進捗状況</b>	<b>19</b>
●木材事業の市場環境 ①	20
●木材事業の市場環境 ②	21
●木材事業:取組みの進捗状況	22
●ハウス事業の市場環境	23
●ハウス事業:取組みの進捗状況	24
●アミューズメント事業の市場環境	25
●アミューズメント事業:取組みの進捗状況	26

<b>PART5 2007年10月期の業績予想</b>	<b>27</b>
1. 連結業績予想(通期)	28
2. 予想配当	29
3. 業績予想の要旨	30
● 本資料お取り扱い上のご注意	31
● IR担当窓口	32

PART1

# 会社の概要



ニュージーランドの松林(写真提供:住友林業株式会社)

## ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス、アミューズメント、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松(ラジアータパイン)製材の国内最大手の評価を頂いております。

会社名	株式会社オービス
設立	昭和34年11月
代表取締役社長	御輿 岩男(おこし いわお)
資本金	6億8,498万円
従業員数	243人(平成19年4月末現在)
中間連結売上高	51億円(平成19年10月中旬)
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築の請負、カラオケハウス及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0105 広島県福山市南松永町四丁目1番48号
連結子会社	株式会社パル TUI MARITIME S.A. (パナマ)

### ●社名の由来●



当社社名の「オービス(ORVIS)」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と、「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

## 経営理念

# 顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様へ利益を還元していく」という意味をあらわしております。

## ■ 当社グループの主要な沿革

昭和34年11月	有限会社中浜材木店を設立	平成元年10月	広島市安佐北区にカラオケハウス1号店を開店
昭和37年 5月	広島県世羅郡世羅西町(現世羅町)に製材工場を建設	平成 4年 4月	株式会社オービスに商号変更
昭和43年 3月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	平成14年 8月	木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)完成、航海開始
昭和46年 6月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	平成14年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始
昭和49年 9月	有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜材木株式会社を設立	平成15年 5月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、不動産賃貸開始
昭和62年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始	平成17年9月	ハウス事業広島工場にてISO9001:2000認証取得
平成元年 4月	カラオケハウスの製造販売開始	平成18年9月	ジャスダック証券取引所に上場

PART2

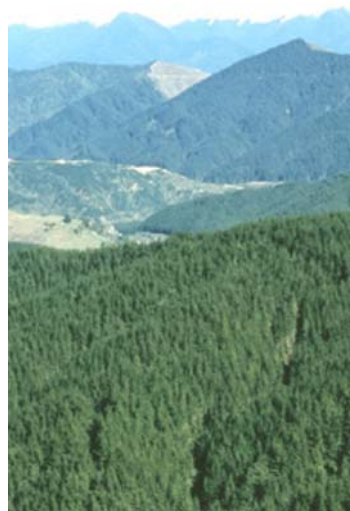
# 事業の特長(強み)



●木材事業のビジネスフロー

仕入・船積

ニュージーランド産ラジアータ松の原木を現地輸出業者から直接仕入



特徴①

海上輸送

専用運搬船「グリーンホープ」で日本まで安定・低コスト輸送



港からの搬入

原木を港湾地域にある当社本社工場、東海工場の2ヶ所へ搬入



特徴②

大量製材

独自の大型機械化製造ラインで大量・低コスト製材



出荷

製品を顧客及びユーザーへ直送



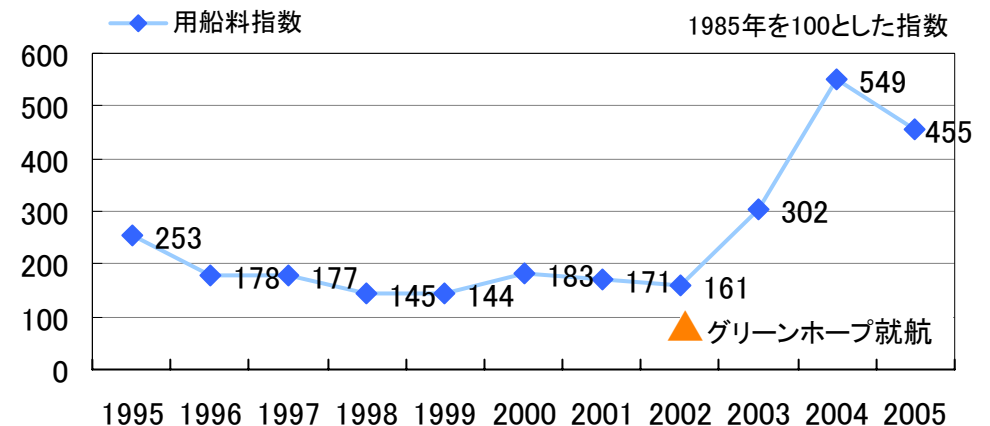
● 木材事業の特長① 専用木材運搬船「グリーンホープ」

■ 安定した輸送コストを実現



- 専用木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)を保有
- 日本とニュージーランドの間を年間8往復し、原木を海上輸送
- 安定的な輸送手段と輸送コストを確保＝国際用船料相場の高騰に影響されない

■ ロイズ SHIPPING エコノミストによる不定期船定期用船料指数 (2万トン以上3万5千トン未満クラス)





● 木材事業の特長② 独自の「画像処理システム」

■ 高い歩留り率をもたらすコンピュータ解析



- 独自の「画像処理システム」を各工場に設置
- 木材断面をコンピュータで解析、最適な木材の切り出し図を自動判定
- 高い製材精度と歩留り率を実現

当社独自の「画像処理システム」

## ●木材事業の特長③ 製品の特徴

### ■ラジアータ松の強み

- 植林木のため資源量が豊富で安価⇒恒久的に安定供給できる
- 柔軟性に富み加工性に優れる ⇒梱包用材に最適
- 原木の直径が大きく、幅広い製品が取れる
- 計画植林のため環境負荷をかけない

### ■価格競争力

- 直接仕入、自社船による安定的低コスト輸送、大量製材、直接販売等により、ローコストオペレーションが確立されており、価格競争力がある

### ■国内挽製材による多品種、大量、速納性

- 国内の2ヶ所の工場で製材をしているため、多様な顧客ニーズに合わせたきめ細かい製材明細を大量に対応することが可能
- 海外で製材する輸入製材品は、通常3カ月前から注文を確定しなければならない。当社は1週間程度で納品できるため速納性にすぐれている

●当社ブランドイメージ「安く、早く、大量に安定供給できる」

PART3

# 2007年10月期の中間連結業績

# 1. 中間連結損益計算書

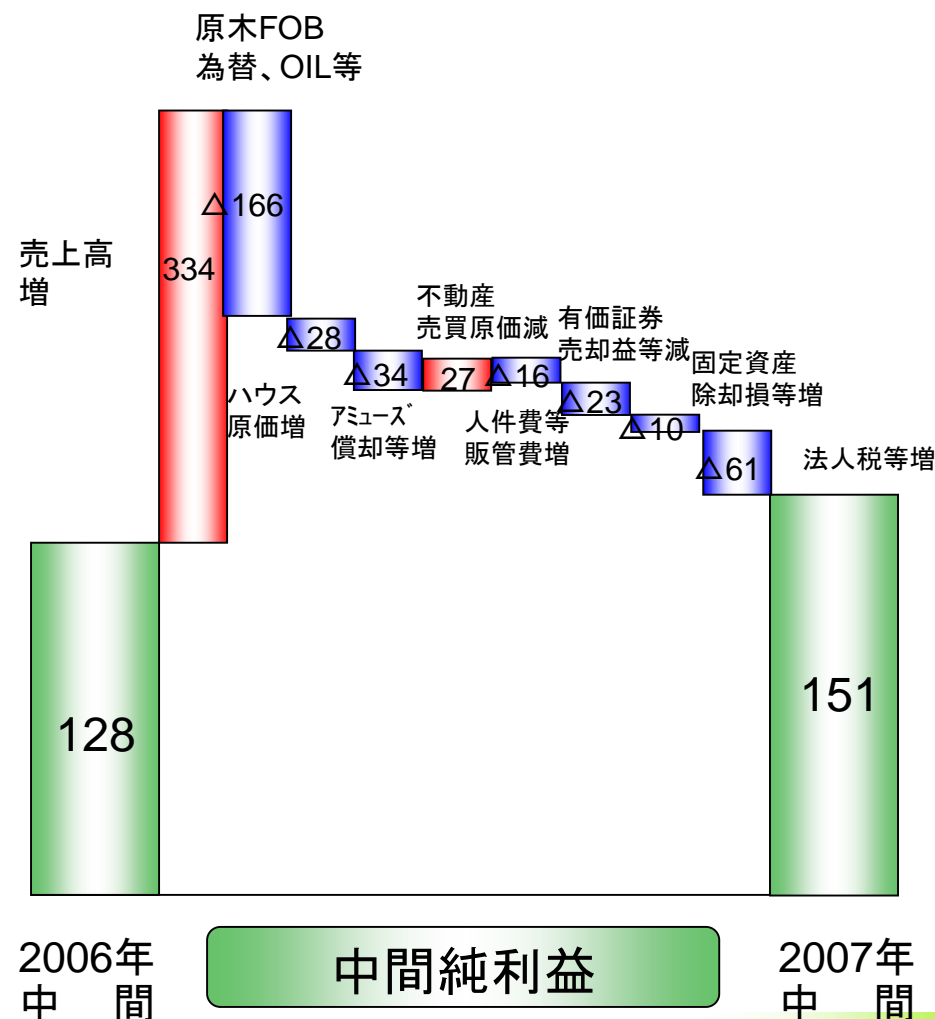
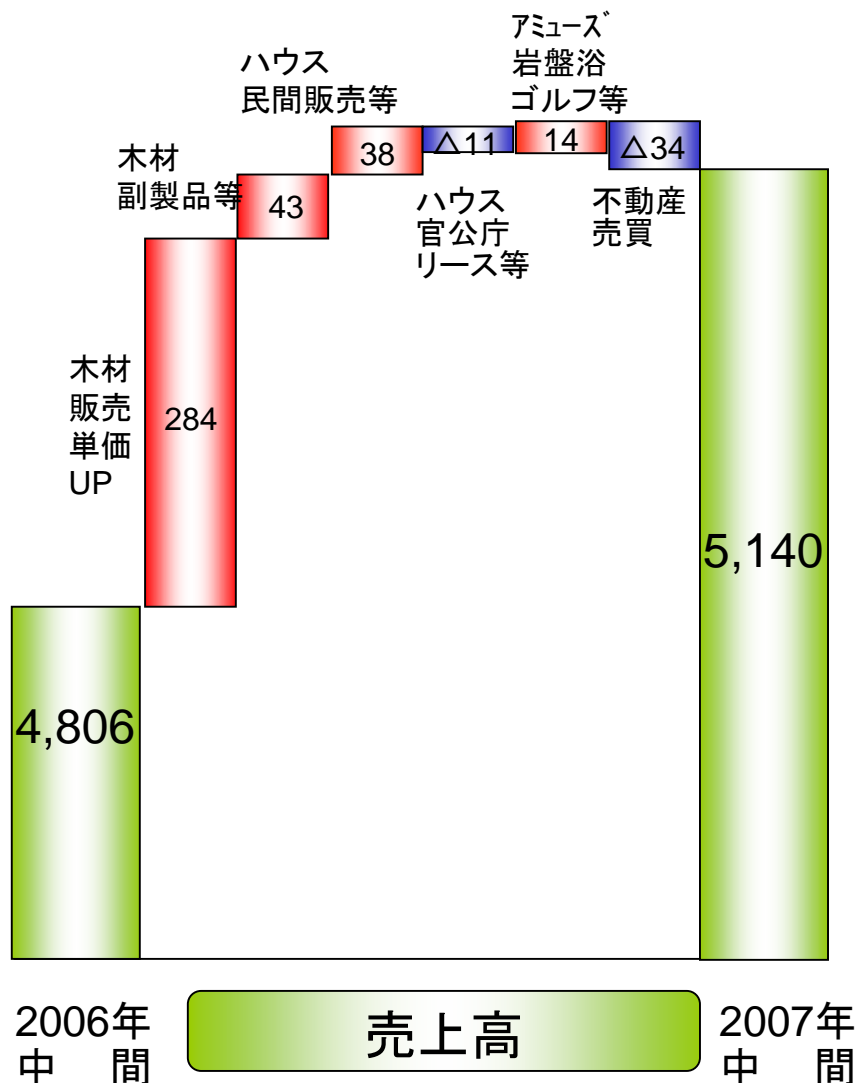
(単位:百万円)

	2006年 中間実績	百分比	2007年 中間業績予想	2007年 中間実績	百分比	前年 同期比	中間業績 予想比
売上高	4,806	100.0%	5,488	5,140	100.0%	107.0%	93.7%
売上総利益	850	17.7%	1,023	984	19.2%	115.7%	96.2%
販売費及び 一般管理費	600	12.5%	666	616	12.0%	102.8%	92.6%
営業利益	250	5.2%	357	368	7.2%	146.8%	103.0%
経常利益	235	4.9%	321	330	6.4%	140.1%	102.6%
中間(当期) 純利益	128	2.7%	176	151	2.9%	118.2%	85.8%
1株当たり中間 (当期)純利益	96.17円	—	101.89円	87.41円	—		—

- ハウス事業の大型物流センター完工のずれ込みにより、中間業績予想には届かなかったものの前年同期比で、売上高**107.0%**、経常利益**140.1%**、中間純利益**118.1%**と増収増益

## 2. 売上高・中間純利益の増減要因

(単位:百万円)

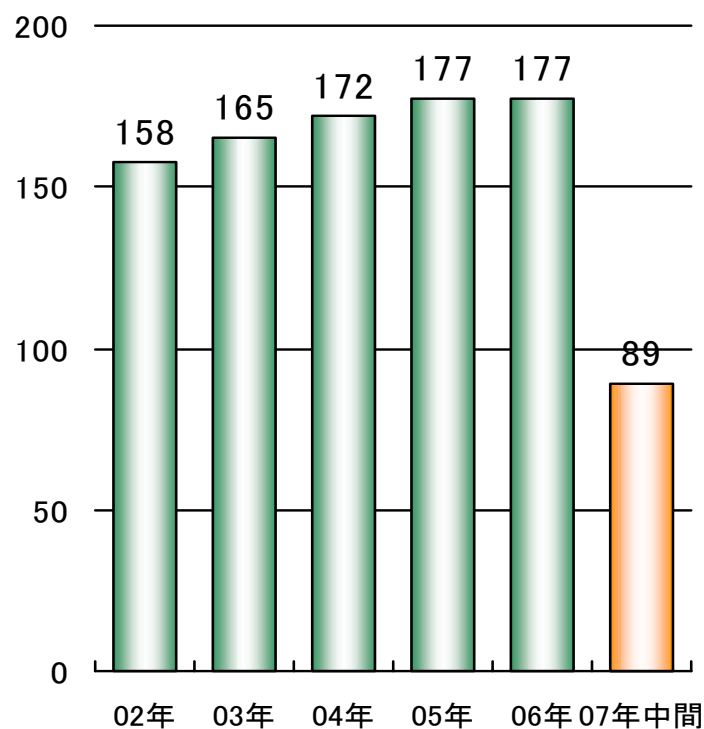


### 3. 事業のセグメント別業績 ● 木材事業

- 販売単価のアップ等により売上高・営業利益共に増加。
- 原木FOB価格上昇、為替平均レート前年同期比2円68銭 円安ドル高により、原材料コスト上昇。

#### ■ 当社出荷量の推移

(単位:千m<sup>3</sup>)



#### ■ 木材事業の業績

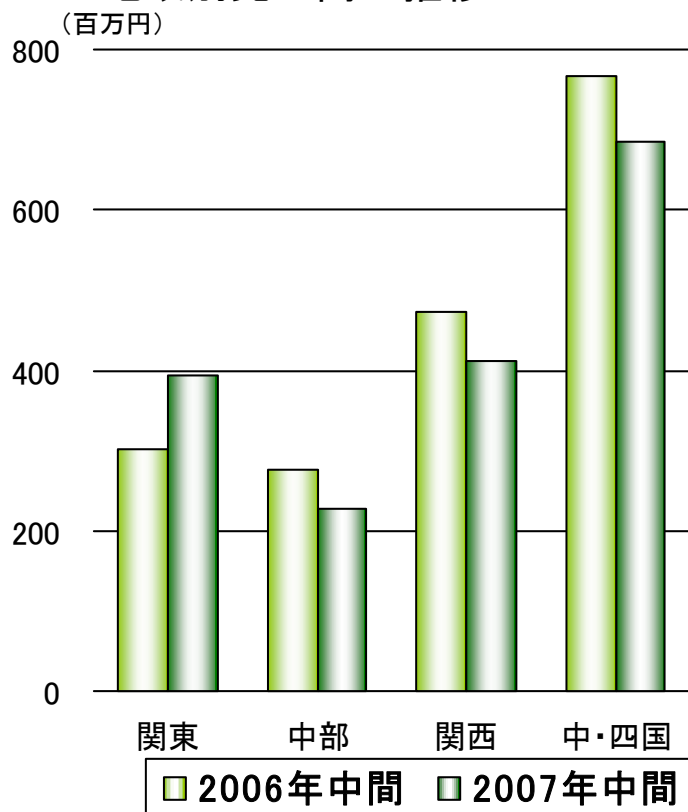
(単位:百万円)

	2006年 中間	百分比	2007年 中間	百分比	前年 同期比
売上高	2,582	100.0%	<b>2,909</b>	100.0%	112.7%
営業費用	2,338	90.6%	<b>2,511</b>	86.3%	107.4%
営業利益	243	9.4%	<b>398</b>	13.7%	163.6%
平均為替 レート(円)	115.88	—	<b>118.56</b>	—	102.3%

## ● ハウス事業

- 民間の中・大型の工場・倉庫物件の引合いは旺盛。
- 上期予定の大型物流センターの完工が5月にずれ込み、売上高、営業利益共に減少。

■ 地域別売上高の推移



■ ハウス事業の業績

(単位:百万円)

	2006年 中間	百分比	2007年 中間	百分比	前年 同期比
売上高	1,819	100.0%	1,719	100.0%	94.5%
営業費用	1,737	95.5%	1,645	95.7%	94.7%
営業利益	81	4.5%	73	4.3%	90.2%

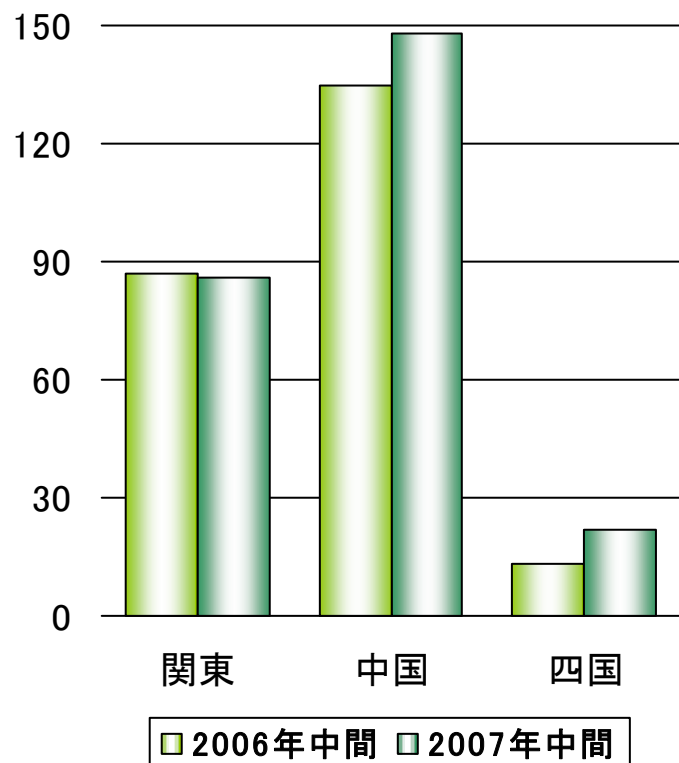
2006年中間の売上高には、内部売上高の128百万円が含まれております。

## ● アミューズメント事業

- ゴルフ場は、暖冬の影響により好調。
- カラオケ改装店舗が、上期通期に渡り営業したことにより、売上高は増加したが、減価償却等の経費増により、営業利益はマイナス。

■ 改装店舗の地域別売上高の推移

(百万円)



■ アミューズメント事業の業績

(単位:百万円)

	2006年 中間	百分比	2007年 中間	百分比	前年 同期比
売上高	476	100.0%	<b>489</b>	100.0%	102.9%
営業費用	457	96.1%	<b>497</b>	101.6%	108.7%
営業利益	18	3.9%	<b>△7</b>	—	—



## ● 不動産事業

- 2棟の賃貸マンションによる賃貸事業にて、確実な収益の確保に注力。
- 売買取引が、発生しなかったため、売上高、営業利益共に減少。

### ■ 不動産事業の業績

(単位:百万円)

	2006年 中間	百分比	2007年 中間	百分比	前 年 同期比
売上高	56	100.0%	22	100.0%	39.9%
営業費用	37	66.5%	9	43.2%	26.0%
営業利益	18	33.5%	12	56.8%	67.7%

## 4. 中間連結貸借対照表及び中間連結キャッシュ・フロー計算書

### ■ 要約中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

(百万円)	06年中間	構成比	07年中間	構成比	増減	主な要因
流動資産	5,366	49.1%	5,777	49.1%	411	たな卸し資産の増加
固定資産	5,566	50.9%	5,992	50.9%	425	リース用資産・カラオケハウス改装・木材事業の新工場等の設備投資等
資産合計	10,933	100.0%	11,770	100.0%	837	
流動負債	4,361	39.9%	4,688	39.8%	326	支払手形及び買掛金、未払法人税等の増加
固定負債	4,016	36.7%	3,590	30.5%	△426	長期借入金の返済
負債合計	8,378	76.6%	8,278	70.3%	△99	
純資産	2,554	23.4%	3,491	29.7%	937	公募増資による資本金等の増加
負債及び純資産合計	10,933	100.0%	11,770	100.0%	837	

### ■ 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	06年中間	07年中間
営業活動によるキャッシュ・フロー	△383	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△286	△572
財務活動によるキャッシュ・フロー	260	255
現金及び現金同等物の期末残高	513	663

自己資本比率  
 23.4%  29.7%  
 有利子負債比率  
 53.7%  44.3%

PART4

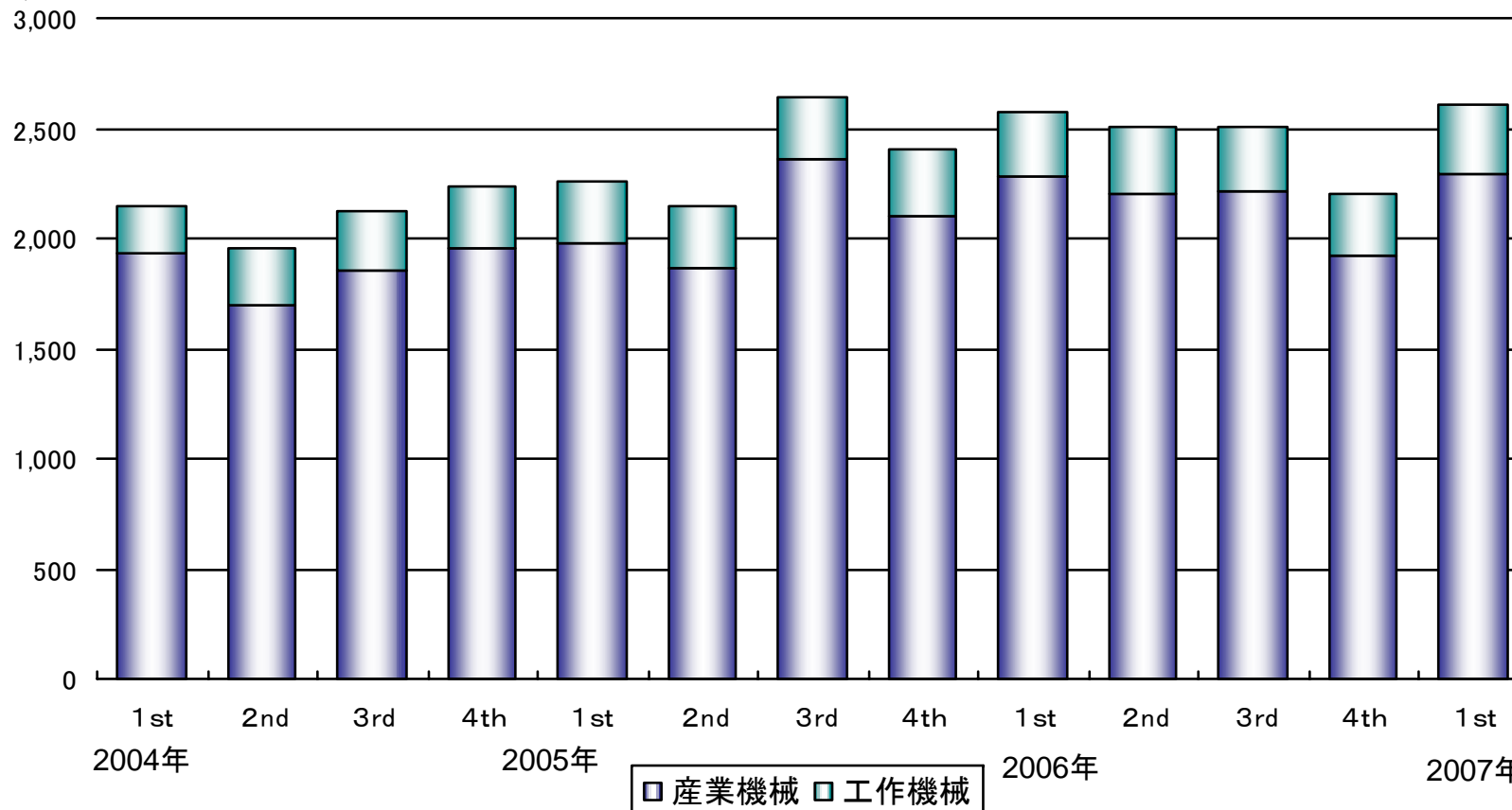
# 市場環境と取組みの進捗状況

● 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

■ 産業機械及び工作機械の受注状況

内閣府経済社会総合研究所 機械受注統計調査

(十億円)

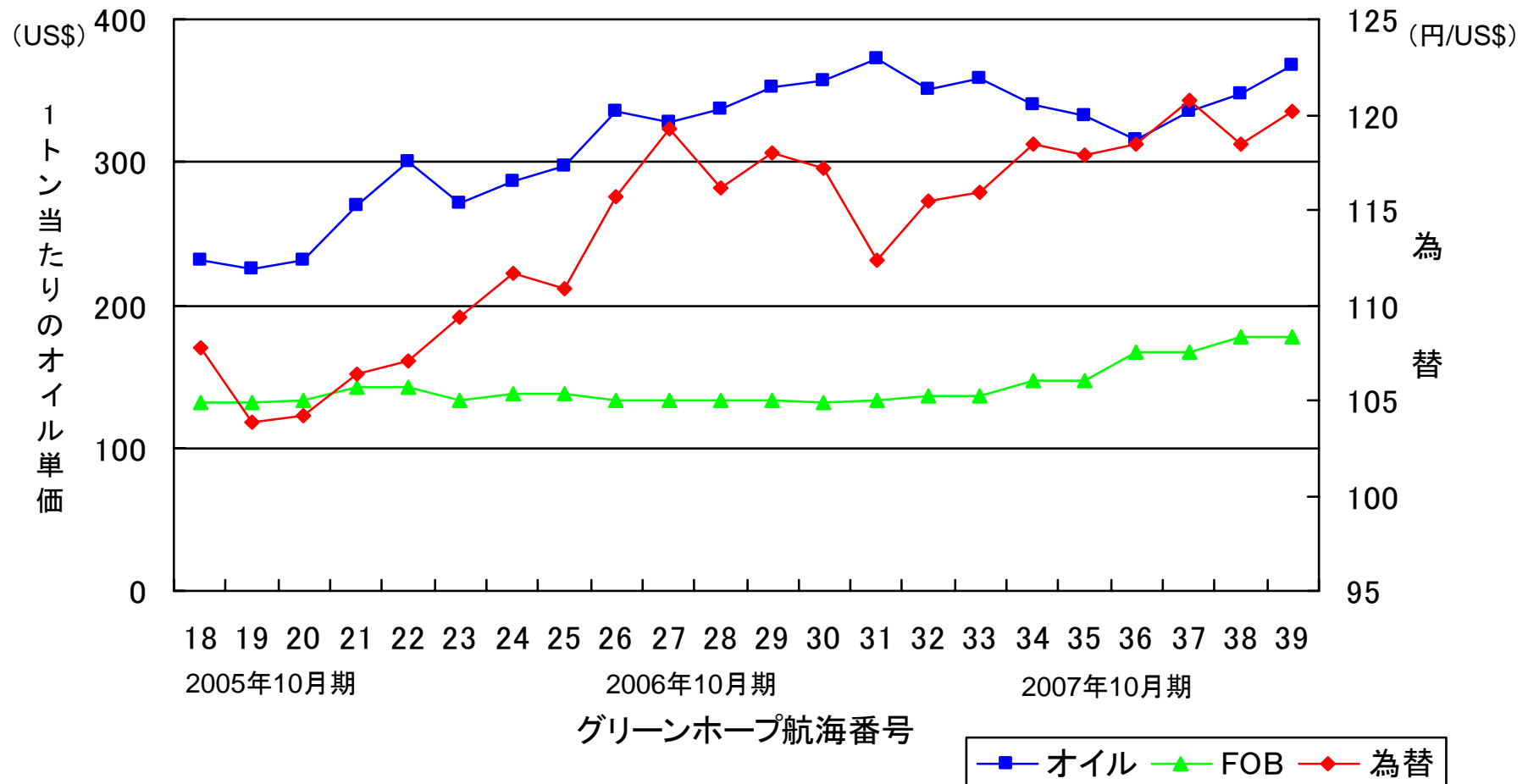


● 産業機械・工作機械・プラントは堅調。機械受注は1年後、プラントは2年後に梱包用材の受注につながる。

● 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替・原油・FOBの推移

■ オイルは自社船の各航海毎の1トン当たりの単価をUS\$で表示しております。(左軸)  
 ■ 為替は、各航海の平均為替レートを表示しております。(右軸)  
 ■ FOBは、推移の動向を表示しており、実際の金額は公表しておりません。



● 原木FOB価格は急騰、オイル、為替も上昇傾向。

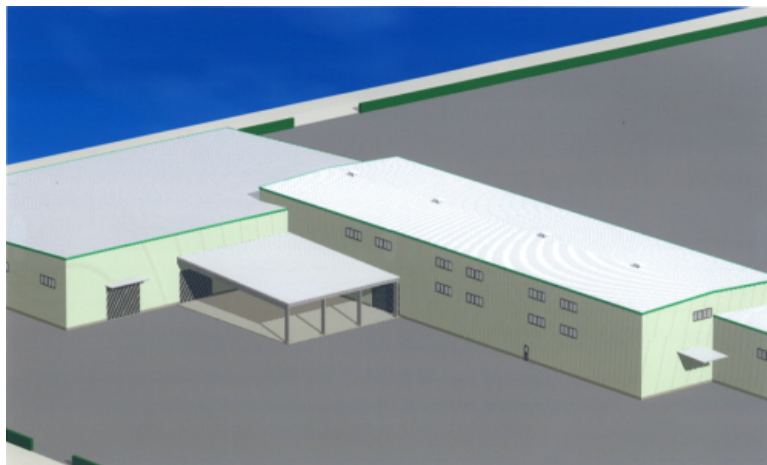
● 木材事業：取組みの進捗状況

■ 出荷量 8万9千 $m^3$ （前年同期比98.1%）

■ 販売単価の引上げ（前年同期比115.9%）

■ 新工場の建設計画を推進する。

- 兵庫県姫路市飾磨区中島埠頭に建設決定（敷地面積約75,000 $m^2$  建設面積約8,000 $m^2$ ）
- 製材機械を発注（ヘイノラ社（フィンランド）、株コーエキ（北海道））
- 設備取得金額 約25億5千万円 2008年8月稼動開始予定



姫路新工場完成予想図

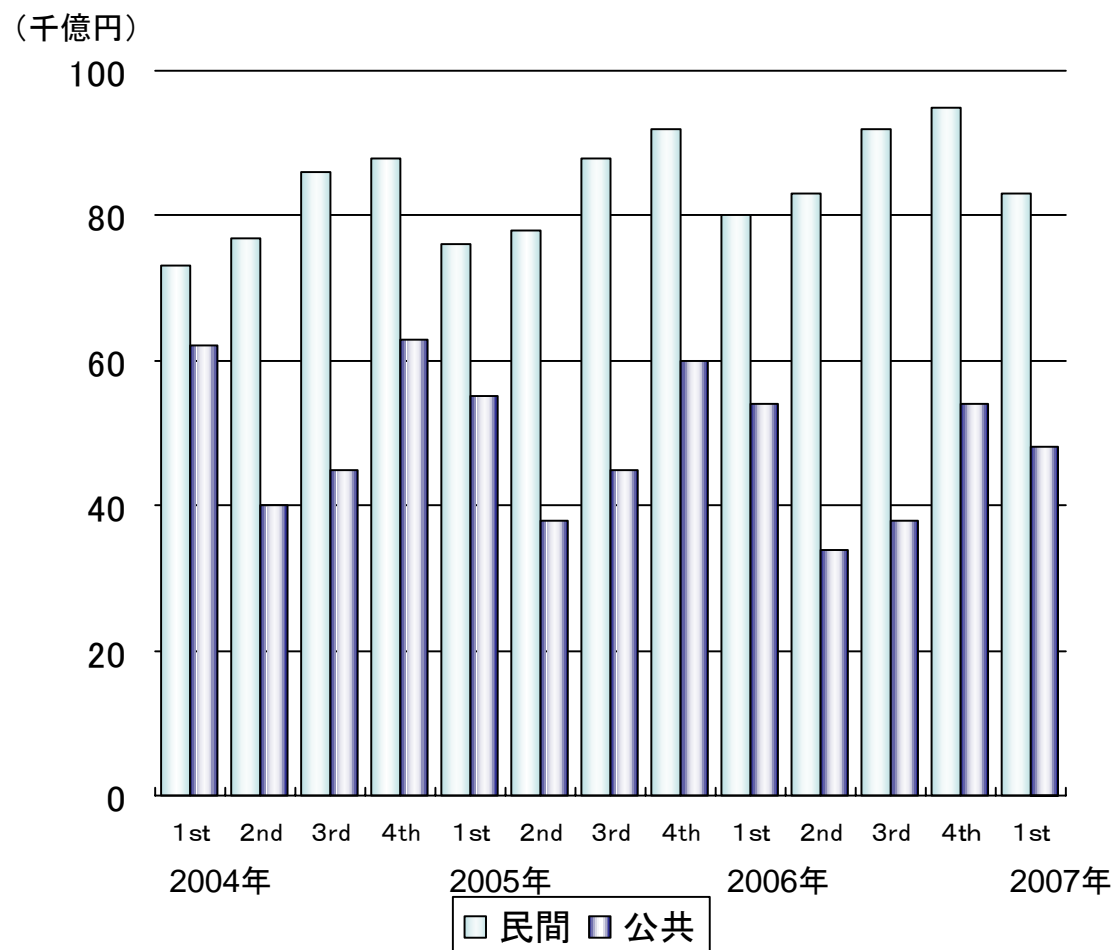
- コストダウンと競争力強化を目指し、新工場を建設

★新工場のメリット★

- 水深の深い港湾の利用により、「グリーンホープ」の積載量をフル活用できる。トータル運搬量20%アップ。
- 新設備の導入で、原木1 $m^3$ 当たりの製造コストを現状より25%削減できる。

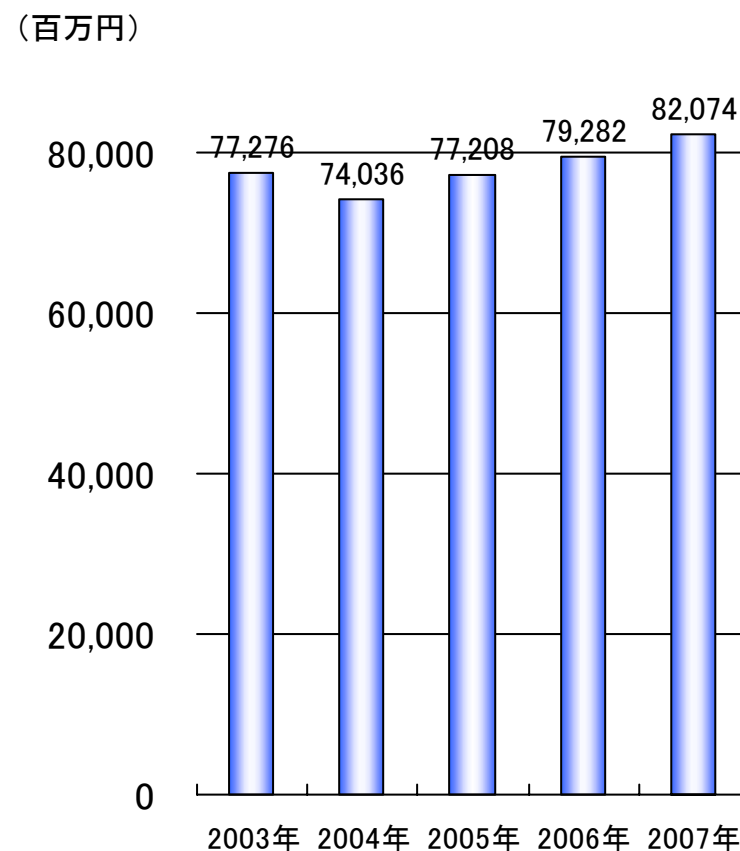
● ハウス事業の市場環境

■ 建設総合統計(出来高ベース) 国土交通省



● 民間工事は増加、公共工事は減少

■ プレハブ業界大手4社の売上高推移



(注) 上場しているプレハブ大手4社の決算短信をもとに、売上高の合計を掲載しております。

## ●ハウス事業：取組みの進捗状況

### ■民間の受注に注力

- 旺盛な中・大型工場・倉庫物件をシステム建築にて対応
- 一般建築の特販担当者の配置

### ■関東・中部地域の体制の見直し・強化

- 地元の建設業者、工務店等からの引合い、受注
- 関東2営業所の合計売上高は前年同期比130.4%
- 中部1営業所は、大型物流センター完工ずれにより売上高は前年同期比減少したものの、売上総利益率が4.6%改善

### ■ユニットハウス営業の推進

- ユニットハウスの販売委託業者・施工業者  
中部地域 2拠点、関西地域 2拠点が稼働予定  
中国地域 1拠点が既に稼働
- ユニットハウスを改良し、利便性の向上とコストダウンを図る



システム建築施工例

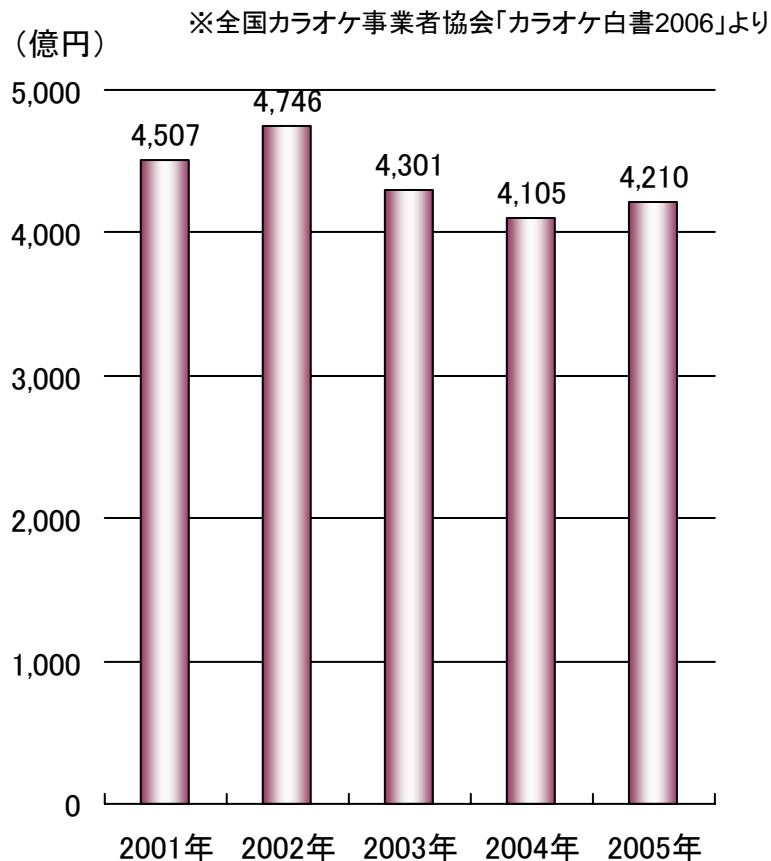


ユニットハウス施工例

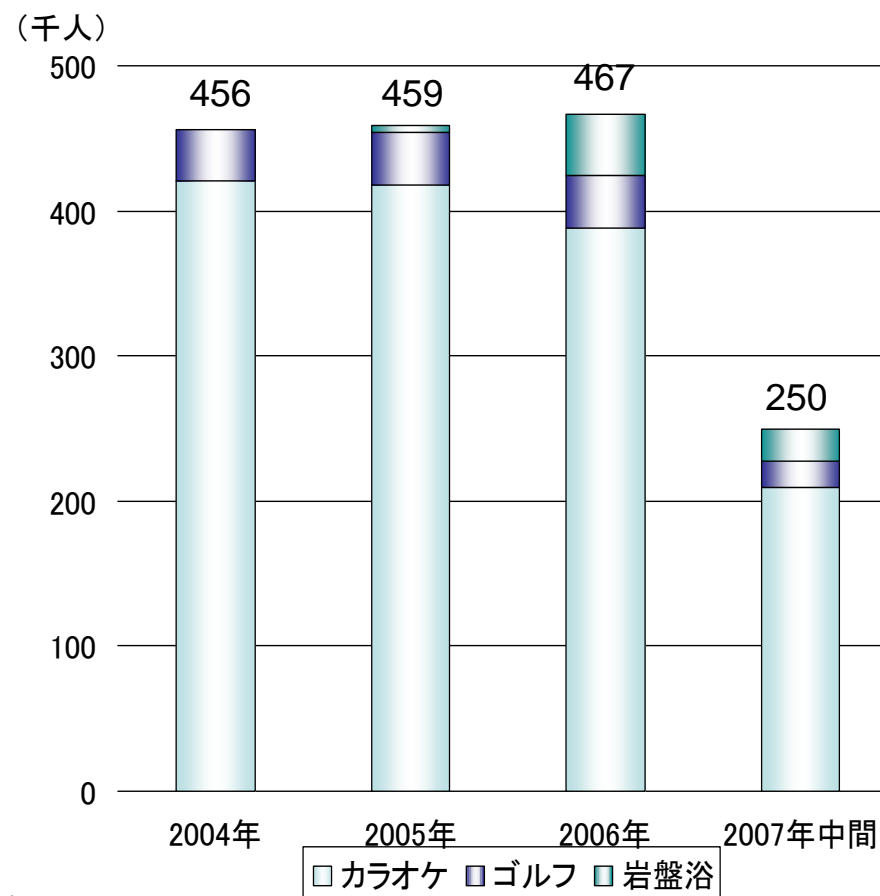


● アミューズメント事業の市場環境

■ カラオケボックス市場規模



■ 当社のアミューズメント事業の利用者数



● カラオケボックス市場は2005年に若干回復。

● 当社はゴルフ場、岩盤浴利用者が増加。複合店舗の効果

## ● アミューズメント事業：取組みの進捗状況

### ■ 既存のボックスタイプをビルタイプに改装し、岩盤浴を併設

- ボックスタイプ10店舗中、5店舗完了。現在さらに2店舗（豊橋店、蒲郡店）改装中（7月オープン予定）。

### ■ 新店舗の出店

- 2007年出店予定の1店舗は、候補地を選定中で、来期以降に出店。



PART5

# 2007年10月期の業績予想

## 1. 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	2006年	百分比	2007年	百分比	前期比
売上高	9,245	100.0%	10,551	100.0%	114.1%
売上総利益	1,688	18.3%	2,020	19.1%	119.6%
販売費及び一般管理費	1,182	12.8%	1,325	12.5%	112.1%
営業利益	506	5.5%	695	6.6%	137.2%
経常利益	432	4.7%	615	5.8%	142.3%
当期純利益	238	2.6%	342	3.2%	143.4%
1株当たり当期純利益	170.90円	—	197.49円	—	—

経常利益ベースでは過去最高益に。

## 2. 予想配当

期末配当		配当性向
2006年 10月期	普通配当 <b>20円</b> 記念配当 5円	14.7%
2007年 10月期	普通配当 <b>30円</b>	15.2%

普通配当を10円増配

### 3. 業績予想の要旨

- ◆木材事業の出荷量増加、販売単価の引上げによる増収・増益
- ◆ハウス事業の一般建築・大型物件の獲得
- ◆ハウス事業の関東・中部地域の収益性の改善
- ◆アミューズメント事業の改装済店舗が年間を通して貢献

## ●本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

●IR担当窓口



ORVIS

株式会社 オービス

企画室 中奥淳史

Tel. 084-934-2621 (代)

Fax. 084-934-2624

E-mail: [ir@orvis.co.jp](mailto:ir@orvis.co.jp)

URL: <http://www.orvis.co.jp>